



令和7年5月14日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社  
代表者名 取締役社長 中原 巖  
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)  
問合せ先 専務取締役執行役員 田中 邦彦  
事務管理本部長  
(TEL 03-5365-2500)

### 通期業績予想と実績値との差異および剰余金の配当に関するお知らせ

令和7年2月13日に公表いたしました令和7年3月期(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の通期業績予想と実績に差異が生じ、令和7年5月14日開催の取締役会において、令和7年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想と実績との差異について

令和7年3月期通期連結業績予想数値の修正(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 28,500	百万円 1,480	百万円 1,590	百万円 1,400	円 銭 72.08
実績(B)	30,279	1,891	1,924	1,439	74.13
増減額(B-A)	1,779	411	334	39	—
増減率(%)	6.2%	27.8%	21.0%	2.8%	—
(ご参考) 前期実績 (令和6年3月期)	23,575	1,012	1,401	932	46.57

(修正の理由)

国内では、設計変更による価格転嫁、ならびに竣工間近工事における原価精査による採算改善で、完成工事高、粗利が増加しました。また、米国現地法人においても工事原価の精査により、粗利が上振れいたしました。なお、営業外収益では、受取配当金および保険料金確定による戻し入れ等により、経常利益が334百万円の増加となりました。

## 2. 剰余金の配当について

### 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (令和7年2月13日)	前期実績 (令和6年3月期)
基準日	令和7年3月31日	令和7年3月31日	令和6年3月31日
1株当たり配当金	24円00銭	22円00銭	16円00銭
配当金総額	462百万円	—	320百万円
効力発生日	令和7年6月30日	—	令和6年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (修正の理由)

通期連結業績の確定を踏まえ、さらなる株主還元に応えるために期末配当金の増額を決定いたしました。

なお、当期の連結業績に大きく貢献した米国現地法人のLNG基地地盤改良工事は、現時点での施工は見込めないことから、次期通期連結純利益予想は、980百万円で当期を大きく下回る見通しです。このため、次期配当金につきましては、22円を予定しております。

以 上